

平成26年1月28日

魚沼市議会議長 浅井守雄様

地域医療対策特別委員会

委員長 佐藤 肇

地域医療対策特別委員会調査報告書

本委員会は、付託事件について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 医療再編等の経過について
(2) その他
- 2 調査の経過 1月28日に委員会を開催し、上記案件について調査を行った。
医療再編等の経過等について、執行部から説明を受け、質疑を行った。
その他で、新病院建設工事の進捗状況等について質疑を行った。
また、今後の委員会活動について協議した。

地域医療対策特別委員会会議録

1 調査事件

(1) 医療再編等の経過について

(2) その他

2 日 時 平成26年1月28日 午前10時

3 場 所 広神庁舎 3階 301会議室

4 出席委員 大平恭児、遠藤徳一、佐藤 肇、高野甲子雄、森島守人、星野武男、
(浅井守雄議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 榎本健康課長、佐藤新病院対策室長

7 書 記 小幡議会事務局長、関主任

8 経 過

開 会 (9:59)

佐藤委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから地域医療対策特別委員会を開会します。これより議事に入ります。

(1) 医療再編等の経過について

佐藤委員長 日程第1、医療再編等の経過についてを議題とします。執行部に説明を求めます。

榎本健康課長 前回11月27日に本特別委員会がありました。その後の経過について説明をさせていただきます。(資料「経過報告」により説明)

佐藤委員長 これから質疑を行います。

大平委員 説明会で出された意見について、ここで話せることがありましたらお願いします。

榎本健康課長 この説明会では、県職員の身分のまま派遣された場合にどういう処遇になるか、また、県職員を退職して公社の職員になったときにどういう処遇になるかという説明をいたしました。それに関連して、新病院がどういった病院になるかという説明をしました。意見ではなく、主に処遇に対する質問が出されました。

遠藤委員 派遣の職員と公社の職員と同じ施設の中で処遇の違う職員が混在するというような形になるということでしょうか。

榎本健康課長 これまでも話をしてきたと思いますが、新病院は、市からの派遣職員と県からの派遣職員、プロパー職員の3種類になります。

遠藤委員 説明を聞いていてもわからないという意見を聞いていますが、内容について意味がわからないというような質疑があったとか、そういった経過はございますか。

榎本健康課長 プロパー職員と派遣職員の処遇の違いがはっきりしないところがあったかも知れません。これまで処遇についての細かい話ができなかったこともあります。今回の説明会では、県の病院局が派遣について説明し、プロパー職員については私どもが説明し、ある程度はご理解いただけたと思います。今後は個別に問い合わせ等があるのではないかと思います。準備を進める中で、細かい診療体制などについての情報を提供しながらさらにご理解いただけるのではないかと思います。

遠藤委員 きょうたまたま委員会があるということでその方に電話をしたんですけども、以前は説明の内容がなかなか理解できなかったということなんですけど、今年度に入ってから説明会で大分詳しいお話もするようになって、今後また不明点については個別に質問等を受け付けるということで理解を深めていくということではよろしいでしょうか。

榎本健康課長 これまでも説明会後に個別に問い合わせをいただいています。今回も同じように問い合わせがあると思いますし、もしわからないという方がいたら連絡いただきたいと言っただけであれば、こちらとしてもありがたいです。

星野委員 12月10日に採用面接試験をされたということなんですけれども、今回は採用予定はどのような職種の方を何名としていましたか。

榎本健康課長 開院時に必要なコメディカルの人員は、概数ですが定めてあります。それに沿った形で採用を進めています。試験を受けた方でしっかりやっていただけると判断した方については採用していきたいと考えております。12月10日の試験は看護師6人でした。

星野委員 来年開院だと思いますけれども、院長は決まっているわけなんですけど例えば看護部長とか事務長とか、その辺は今回の試験にまだ入っていないんですか。

佐藤委員長 ただいまの質疑はもう1枚の資料に関連がありますので、この説明を求めます。

榎本健康課長 (資料「魚沼市立小出病院施設運営スケジュール(イメージ)・魚沼市医療公社医師採用計画(イメージ)」により説明)看護部長等の幹部職員についても決めていきたいと考えておりますが、いましばらく時間がかかると思っております。

佐藤委員長 引き続き質疑を行います。

高野委員 人員確保の関係については、労働組合との絡みがあると思うんですが、その辺の説明等についてはなされておりますか。

榎本健康課長 組合と一定の交渉が終わりましたので、20日と27日の説明会で処遇の説明を行ったということであります。

高野委員 説明会の中で、微妙な関係になるかも知れませんが、どのような感触を受け止められておりますか。

榎本健康課長 昨日は3回に分けて230人前後の方から来ていただきました。皆さんから関心を持っていただいていると思っております。それと同時に私どもからは、新しくつくる病院ですので経験豊富な地元の方からぜひおいでいただいて市立小出病院の運営に当たっていただきたいというメッセージを発したつもりです。今後も個別の相談や情報発信を行いながら進めていきたいと考えております。

大平委員 シンポジウムで十日町病院長が、十日町のほうでは看護師の不足が叫ばれていて、非常に切迫感を持ってどう対応するかということをお話されていました。魚沼の状況はそのときには聞かなかったのですが、予定人数よりも不足することも予測されると思いますが、その際の手立てを今の段階で考えていたら、お聞かせいただきたいと思います。

榎本健康課長 医師不足、看護師不足は今までもずっと言われてきており、この医療再編はその解消のために進めてきました。また、この地域から看護師になる方はいるけれども地元に残らない方が多いということをお話し、女性が働きやすい職場、短時間でも正規雇用をするという勤務条件を挙げて進めてきました。医療公社についても、北里保健衛生専門学院を運営する法人からも出捐者になっていただき、理事にも就任いただいています。新潟大学の医学部長にも理事になっていただくなど協力体制をつくって来ました。もう一つは、来春でしょうか、小出高校に普通科の医療専門コースができます。新潟大学の医学部には地域枠があります。市でも修学資金制度を設けるといった手立てを講じてきました。開院に向けて今は鋭意頑張っているところです。

大平委員 医師不足、看護師不足はかなり前から叫ばれていて、それをどうするかというのは非常に難しい問題だと、地域住民も思っているでしょうし関係者もせめぎ合いをしていると思います。そうはいってもやはり新たに病院をつくるということで、しかも地域の医療体制を大幅に見直して連携を模索していこうかということによっておられると思いますが、非常にわかるんですけど、絶対数が不足している中では、ある程度先を予測してどうするかという別な形で考えないと非常に難しいのではないかと思います。特に看護師は在宅医療を目指す上で非常に中核的な重要な人材だと思っています。本腰を入れて働きかけや取り組みを考えていく必要があると思うんですが、その認識はどうでしょうか。

榎本健康課長 医師不足、看護師不足の認識は、これまでと変わっておりません。今回の医療再編により解決していく気持ちでやっていきたいと思っています。

高野委員 魚沼市の場合は、医師不足、看護師不足の解消のために大変力を入れており、基金を創設するなど非常に努力されていると思うんですけども、利用状況はわかりますか。

榎本健康課長 今年度の貸付状況は、医師を目指している方が2人、看護師を目指している方が5人です。

高野委員 よく宣伝して活用していただき1人でも2人でも確保できるようにしていただきたいのですが、いかがですか。

榎本健康課長 毎年、各高校の進路の先生方をお願いしていますし、ポスターも作成しており、ご覧になった方もいるかと思いますが実際に貸与している方をモデルにしているいろんな場所に掲示しています。市報にも掲載していますが、今後も一層のPRに努めたいと思います。

大平委員 医療系を選択する人たち、あるいは全然考えていない人たちも含めて意向調査、アンケート調査などをしたことがあったか、若しくは今後検討していますか。

榎本健康課長 意向調査は考えておりません。進路が決定するのが高校生ですと2年生後半くらいかと思いますが、先ほども言ったように各学校を訪問して、こういった制度があるということをお話しして周知する方向で今後も進めたいと思います。

佐藤委員長 ほかにありませんか。(なし) なければ、質疑を終結します。本件については、引き続き調査をしていくこととします。

(2) その他

佐藤委員長 日程第2、その他を議題とします。皆さんから何かありませんか。

森島委員 県との土地の関係、これは30年ごろ県から市が買うという話ですけれども、その辺の進み具合はどのようになっていますか。

榎本健康課長 財産の移譲については24年度中の特別委員会で報告したと思いますが、建物の解体は県が行い、土地については30年ごろの評価額でという協議まで終わっております。

森島委員 具体的な話はまだ詰めていない、事務的なところしかまだ進めていないというところなんですか。

榎本健康課長 基本的には購入するということです。あとは時期をどう見るかということです。

遠藤委員 今しがたの森島委員からお話があったことについてですけれども、更地になった土地を30年ごろの評価でという話で、それは取得ということによろしいでしょうか。

榎本健康課長 そうです。

遠藤委員 土地の取得につきましては、更地の評価のほうがかなり高くなりますが、比べた場合に更地での購入のほうがいいのか、既存物があって購入し県に取り壊しを依頼したほうが安くなるような感じもあるんですけど、その辺の試算はどうでしょうか。

榎本健康課長 新発田病院の跡地は土壌汚染がありました。そういった予想できない部分もありますので一概に言えませんが、土地は土地、建物は建物と分けたほうがいいのかと事務レベルでは考えています。

遠藤委員 県との掛け合いということの中でいかに市が有利に進められるかというのは、やっぱり手腕だと思いますので、そういった取得の方法がいいか、魚沼から医療が撤退するという県の方針についてはまだ難色を示している人がいないわけではないですので、政治的な掛け合いを私どもも当然一緒にやらなければならないと思うんですけども、何とか有利に土地の取得が進むようにまた働きかけが必要だと思いますが、その辺のアピールはやっていくんでしょうか。

榎本健康課長 時期を見て協議しなければならないと思っています。

高野委員 工事の進捗状況については、前回工事が止まったという関係もありますので、遅れないのか説明をお願いします。

榎本健康課長 前回、掘削をしたら支持地盤となる場所に粘性土が出て、それを砕石に置き換える作業が出たという説明をさせていただきました。置き換えまでは終わり、免震構造部分を据えつける底版部分のコンクリートの打設が4分の3程度残っております。これについては、3月になりましたら除雪した上で遅れた工程を取り戻すべく工事を再開したいと考えています。気象状況を見ると予定どおり進められるのではないかと考えております。

佐藤委員長 しばらくの間、休憩します。

休 憩 (10 : 35)

休憩中に懇談的に意見交換

再開（10：36）

佐藤委員長　休憩前に引き続き会議を再開します。ほかにありませんか。

大平委員　新たに病院が開設されて地域医療が、布施先生も言っているように今ある医療資源で何とかやっていくということで進めていく中で、先ほども言いましたけど看護師など医師以外のスタッフの重要性は大きいものがあると思うんですけど、その中で本当に人員が確保できればいいんですけど、そうなったときに予測されるのが、例えば今までやってきた健診だとか予防医療に携わるさまざまな事業が集約されるのではないかと懸念を持っている人もいると伺っています。予防医療を行う上で健診は非常に重要な部分を占めていると思うんですけども、そこら辺について、現時点でどういう考えを持っているのか伺います。

榎本健康課長　スタッフが確保できないことがないように鋭意努力して開院の準備を進めていきたいと考えております。住民健診については、保健師の活動を中心として考えていただくとは一番わかりやすいのではないかと思います。今後の状況によっては健診会場の集約も考えられますし、健診体制の充実もやっていかなければなりません。住民の健康保持に努めたいと考えております。

遠藤委員　以前にも委員長に委員会の方向性ということでお伺いしたことがありますが、委員からの質疑で当局に要求するばかりという感があるように思います。視察や陳情、要望で大学や県に行くといった行動を一切委員会でされていません。この委員会では、やはりそういった取り組みもやるべきことだと思います。当局に医師不足はどうなっているか、予定はあるのか、確保できるのかということを行っているばかりではなく、いろいろな機関にお願いに行ったり様子を聞きに行くことも、もし可能であれば行動的なアクセルの部分も必要なのではないかと思っておりますけれども、委員長の見解をお願いします。

佐藤委員長　遠藤委員からの要望だと思いますが、しかるべきところに要望といったことにつきましては、当然行政の後押しということのできる部分もあるかと思いますが、どういふところということもありますので、今後研究させていただきたいと思っております。

遠藤委員　確かに執行部の方々が真剣にお願いに行っていていろいろな道筋は立ててくれていると思うんですけども、私どもが行ってどうこうなる問題じゃないと思っておりますけれども、やはり誠意という部分とか、市が直面している問題にこういった机上の会議だけでなく様子を聞きに行く、あるいは現地を調査する、そういった機関に顔出しをしていくということは非常に大切なことだと思いますので、執行部とよく相談して、何が役に立つかは別といたしましても、そういった可能性を議会も一緒に探っていく姿勢は大事だと思いますので、委員長のほうで研究をお願いします。

佐藤委員長　そのようにしたいと思っております。ほかにありませんか。（なし）なければ、その他を終わります。本日の会議録の調製については、委員長に一任願いたいと思っております。本日の地域医療対策特別委員会はこれで閉会します。

閉会（10：46）